



森ボラ 通信

第244号 2022年9月20日発行
NPO法人 **北海道森林ボランティア協会**

URL <https://www.shinrin-npo.info/>

札幌市豊平区平岸1条1丁目8-8ラルズ生活研究センター
TEL (fax.): (011) 816 - 7010
E-mail: hshinrinv2002@nifty.com

トピックス

◆ 4年越しの復活！ 炭焼き顛末記

4年前に私が入会した頃の頃、テント小屋の前にあるブルーシートに覆われた錆だらけの鉄の塊が妙に気になって先輩に尋ねた事がキッカケだった。「これはね炭焼きの窯、テントを張って一晩中火の見張りをするんだ。楽しいぞ！」当然これは来年ぜったい参加しようと思っていた矢先、森の中では一切火は使ってはいけないとの通達が…ムムム、こうなると一層「炭焼き」への憧れが私の中で膨らんでいったのでした。

転機は突然訪れました。昨年除雪の相談で近くの三幸建設さんに伺った際、炭焼きのお話をしたところ、快くOKとの返事！早速、年間計画に炭焼きを加えてもらいました。

炭焼きの日は8月27日に決まったものの、何をどうすればいいのかオロオロしているうちにもう2か月も無くなり、ドタバタしながら準備を進め、炭窯火入れ当日を迎えました。コモドの森の家族も参加して、10時に無事着火。隣にブロックで焚火スペースを作り、空き缶化粧炭作りにも挑戦です！化粧炭はもう少し丁寧に扱えば良い作品が出来たのではと反省。

十分に上の薪に火が回ったのを確認して、T師匠の号令で上蓋をして煙突を取り付けました。これから1時間毎に煙突をずらして吸気口と排気口を入れ替え、燃焼を均一にします。そうして煙突の煙が白色から透明に変わってきたら、煙突を取り外し土を被せて終了だからと、師匠は言い残して帰って行きました。さあこれからが長丁場です。合間にスウェーデントーチの燃焼実験も行いました。ロケットストーブ型はバーナーの様な高火力、従来の切り込みを入れたトーチはゆっくりと燃焼し、どちらも実験成功に終わりました。

炭焼きの楽しみは酒も入るディナーで極まり、酔いと共に会話も弾み、あっと言う間に日を跨いでいました。窯の煙突からは相変わらず白い煙が出ています。交代で休みながら煙を監視して朝日が昇てきても煙は白いまま…

朝9時になって堪らず師匠へ電話すると高笑いのあと「ある程度諦めも肝心」と禅寺の坊さんのごとき説得をされ、昨夜の呑み疲れも相まって撤収する方向へ！ただ今になってやっと下の吸気口付近からゴーっという音と共にやっと火が回った感じです。そこであと1時間待とうという事になって待っていたら、2本の煙突から透明な煙が！これで心置きなく終了できると皆で密閉作業を行い終了となりました。

8月30日に窯の温度が下がっていることを確認してから、いよいよ炭出しです。窯を解体していくと、おっっ出来てる！下の方が燃焼不足の部分もあり、市販の炭より脆い炭となりましたが、過去に経験した先輩達からは上手く出来たとお褒めの言葉を頂きました。



来年は今回の反省点を改善してもっと良い炭が出来るように頑張りたいと思っています。炭焼き窯と焚火を囲みながらの野宿は最高です！皆さんも興味を持たれた方は是非来年参加してください。
(文・松藤)

■ 活動報告

◆ 第2回 “じょうてつの森づくり活動” を実施

「じょうてつの森づくり活動」の第2回目は、8月30日に澄川都市環境林で実施されました。(株)じょうてつからはこの日の力仕事に備えてか若手を中心に11名が参加し、森ボラからは午前中の森歩き・薪割り作業に6名、午後の地拵え作業に8名が参加してサポートしました。

午前中の活動は恒例の森歩きと”薪割り”です。薪割りでは、斧、カケヤで叩いて割るキンドリングクラッカー、レバー操作ひとつで簡単に割れる薪割り機と、3種類の方法を用意しました。斧は腰を同時に下げて丸太に真っ直ぐ降ろしてくださいと森ボラ協会員の指導を受けながら、用意した丸太を全て割って、薪小屋に積み上げて作業を完了しました。



森を歩いて育林の考え方を聴く

昼食後は、いよいよ今日のメインイベントである地拵え作業に取り組みました。10月に予定している第3回目の活動で植栽する環境林南側奥のA-1区、E-2区において、植栽前の必要な作業として「地拵え」を2班に分かれて行いました。地拵え場所は前回の活動で草・笹刈りを終えて66本の

竹棒が目印として立っていましたが、先ず協会員が刈り払機で竹棒の周り1mほどを更に丁寧に刈った後、じょうてつの皆さんが鍬を使って土を掘り、笹や木の根を取り除き、植栽し易いように土をほぐしていきました。参加者はみな鍬の使い方は手慣れたもので予定した時間内に66箇所の地拵えを終えることが出来ました。



植栽予定地の地拵え作業

作業で使った鍬や刈り払機を取りに行ったキャリコが戻ってくるまで少し待った後に森ボラと共に終礼を行いました。参加者に今日の活動の感想を聞いたところ、地拵え作

業は力を入れてやる必要があったので少し疲れたが、森を育てる活動に参加出来た満足感がありましたとの感想がありました。

次回は10月13日(木)に清掃活動と植樹を行う予定です。(株)じょうてつの皆さん、お疲れ様でした。(文・清澤)

◆ ぶんぶんの森 カラマツ除伐活動

「ぶんぶんの森」は樽前山の南麓で、苫小牧市国有林1355林班ろ小班(面積7.09ha)に位置し、2009年4月に北海道新聞社と胆振東部森林管理署が協定を結び、当会は北海道新聞社の支援を受けて植樹の準備、指導そして下草刈りなどの育林活動を継続してきました。

当地では2009年から2011年にトドマツ3,659本を植栽しましたが、2012年頃から近隣の親木によるカラマツの実生が隙間なく発生し、2016年には樹高が1mを超え、トドマツを凌駕する勢いになりました。

2021年9月には胆振東部森林管理署、北海道新聞社および当会の3社が現地に集まり、今後の育林方針を相談して基本的にカラマツの生長を見守ることとしました。その際当会の提案により試験列を設定して除伐の効果を確認することが了解されました。

2022年7月8日および9月5日に下記の要領により試験列の除伐および標準区の調査を行いましたので報告します。

【除伐要領】

- ・カラマツ除伐標準列: ぶんぶんの森中央の H23A 区東側 3 列。
- ・各列の除伐の考え: 第 1 列は除伐しない。第 2 列は 5 本に 1 本除伐(除伐率 20%)、第 3 列は 3 本に 1 本除伐(除伐率 33%)。枯損木、傾斜木を除去後に目標除伐率を目指す。
- ・標準区: 各列に 6m×6m の標準区を設定し、写真撮影、本数、樹高を測定。

除伐試験列は長さが 70m 程で一人当たり 10m を担当して、各自が責任を持って除伐を行いました。このような除伐は当会の活動では今まで経験が無く、頭を悩ませながらカラマツ稚樹が密生し、体がようやく入るような状況の中で行いました。小雨模様の中、お疲れ様でした。



33%除伐列の除伐前と⇒除伐後の状況

各標準区の除伐前、除伐後の本数及び各区の標準木 20 本の樹高を右表にまとめました。

2022年ぶんぶんの森 除伐標準区 まとめ								
標準区 の 目標除伐 率	カラマツの本数					樹高 (cm)		
	除伐前A		除伐後B		除伐の割合 (A-B)/A	(各区標準木20本)		
	6m×6m	ha当り	6m×6m	ha当り		最高	最低	平均
0%	54	15,000	54	15,000	0.00	600	211	388
20%	73	20,278	49	13,611	0.33	610	190	439
33%	150	41,667	72	20,000	0.52	545	258	394
計	277	25,648	175	16,204	0.37	585	220	407
* 樹高1.0m以上を対象。				* 枯損木、傾斜木を整理した後に除伐。				

これから各列ではばらつきが大きいですが、1ha 当り本数は除伐前 25,000 本、除伐後 16,000 本と過密の状況

となっています。また、樹高は最高 610 cm、最低 190 cm、平均 410cm 程となりました。参考までに除伐前後の写真を示しますが、違いは分かりづらいと思います。今後は積雪による傾斜木や過密による枯損木および病虫害の発生が懸念されますが、活動を継続してカラマツの生長を見守っていきたいと思います。(文・樫棒)

■ 澄川の自然 37

樹名板の取付け

今までも澄川南小の子供達とか、親子森林教室用として森のあちこちのポイントとなる木に樹名板を設置してきました。

長い間森に入って活動していても、全部の樹木の名前を知ることとはなかなか難しいものです。まだまだ、全種類の樹木に設置したとは言えませんが、珍しい木、新しく見つかった木、記念樹等に順次取り付けて行きたいと思っています。



9月3日、E-2地区の「シウリザクラ」に設置しました。この日は暖かく、山を散策するには絶好の日和で、この木はもう葉先が紅葉になりはじめていて、小さな秋を見つけました。(文/写真・西野(澄))

新入会員の紹介～よろしくお願ひします！

ゆあさ みか
湯浅 未佳 さん(56歳)

2度の体験参加後、入会を決めていただきました。ものづくりが趣味で自然の中にいる事や子供たちと触れあう事が好きとの事で、恵庭市で中学校の先生をされています。ご実家が厚別区なので、野幌の活動にも参加したいと意気込んでいます。仕事柄平日は参加できませんが、ゆっくりと参加して徐々に慣れていきたいとの事。機会があれば親子森林教室にも参加して頂きたいですね！活動で見かけたら是非声をかけてください。

■ 今月の幹事会

出席者(9/7):大窪・荻田・樫棒・加藤・清澤・釣井、西野(澄)・松藤・三橋・矢野

1. 2022年10,11月活動スケジュール(10月幹事会10月7日(金)):了承
2. 2022年8月末会計報告:了承
3. 2022年度森林・山林多面交付金事業8月活動報告:了承
4. 第4回親子森林教室スケジュール:了承
5. 10月8日オイスカ植樹祭:野幌国有林49林班にて40名参加予定。
6. 20周年記念行事の駐車場整備:三幸建設敷地を利用。整備費負担を了承。
7. 現場報告 ・8/19 野幌国有林の活動 :笹刈りに苦戦。
 - ・8/1,24 野幌道有林活動:次年度植栽予定地の草刈りおよび親子森林教室準備。
 - ・8/30 澄川南小学校3年自然観察:樹名板取付、酒井さんによる葉っぱの話を行った。
 - ・第2回 じょうてつの森づくり活動の報告
 - ・コモドの森活動報告:8/21は1家族、8/27は2家族参加。炭焼きを体験。
 - ・8/27,28 炭焼きイベント報告:燃焼が思わしくなかったが楽しく実施。炭の出来も十分。
 - ・9/5 ぶんぶんの森カラマツ除伐:初めての経験で戸惑いもあったが無事に終了。
8. その他
 - ・20周年記念専門委員会:参加者の確認。来賓あいさつ依頼。当日の役割確認。
 - ・11/29 忘年会:実施場所の選定を進める。 ・活動日の役割割り当てと終礼時の感想:協議を継続。
 - ・機器管理者:担当者は各自で整備が原則。1か月に1度は整備日を設定。

■ 活動履歴

月日	行事・活動地	参加人数	活動内容
8月17日(水)	澄川	17	樹木園毎木調査、木道補修、北地区整備、作業道草刈り
8月19日(金)	野幌国有林	11	笹刈り、倒木整理
8月21日(日)	澄川	16	作業道整備、炭焼き準備、樹木園毎木調査
8月24日(水)	野幌道有林	11	草刈り、親子森林教室準備
8月27日(土)	澄川	16	炭焼き(三幸建設敷地)、樹木園毎木調査
8月28日(日)	澄川	7	炭焼き後片づけ
8月30日(火)	澄川	15	炭だし、澄南小3年学習支援、じょうてつ活動支援
9月1日(木)	野幌国有林	10	笹刈り、倒木整理
9月3日(土)	澄川	16	親子森林教室・20周年準備、作業道草刈り
9月5,6日(月火)	支笏湖ぶんぶんの森	15,13	カラマツ状況調査・除伐、世界遺産キウス周堤墓見学
9月6日(火)	滝野自然学園	5	(多面)刈払い機技能・安全講習
9月7日(水)	ラルズビ生活研究C	10	幹事会
9月9日(金)	野幌道有林	9	草刈り、親子森林教室準備
9月11日(日)	野幌道有林	13	第4回親子森林教室(森しり隊植樹祭)
9月13日(火)	澄川	19	水質調査、澄川南小6年観察会、作業道整備
9月15日(木)	有明	7	草刈り、食害防止網補修